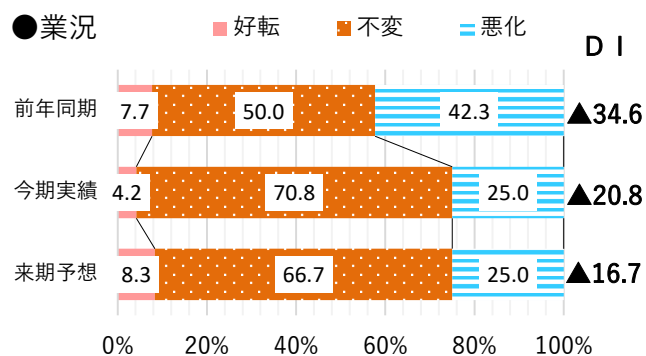


サービス業

業況、売上、採算

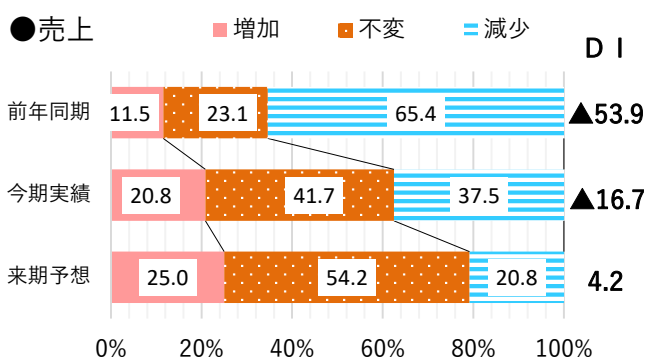
今期（2022.1～3）の業況判断DIは▲20.8で、前年同期(2021.1～3)と比べ13.8ポイント上昇しました。

来期（2022.4～6）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



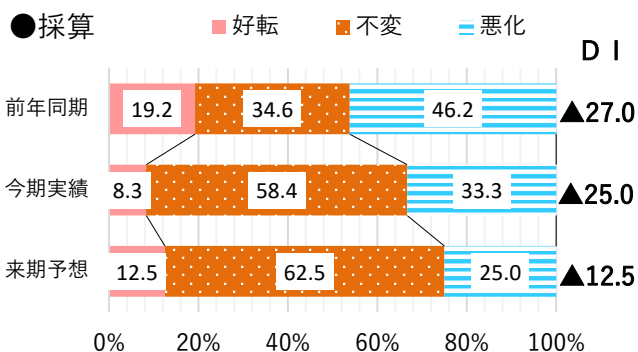
今期の売上高DIは▲16.7で、前年同期と比べ37.2ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上がプラスに転じると予想しています。

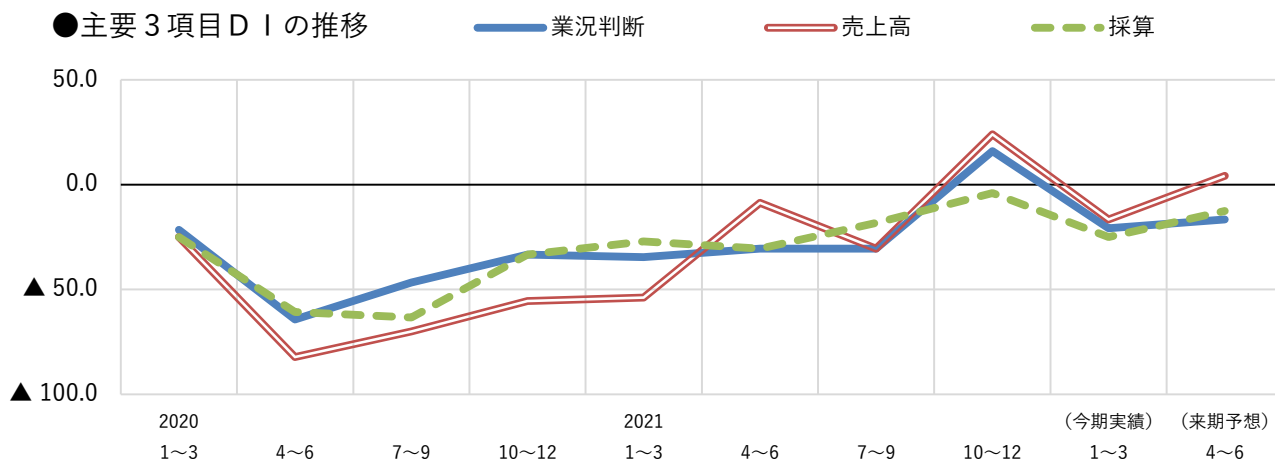


今期の採算DIは▲25.0で、前年同期と比べ2.0ポイント上昇しました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



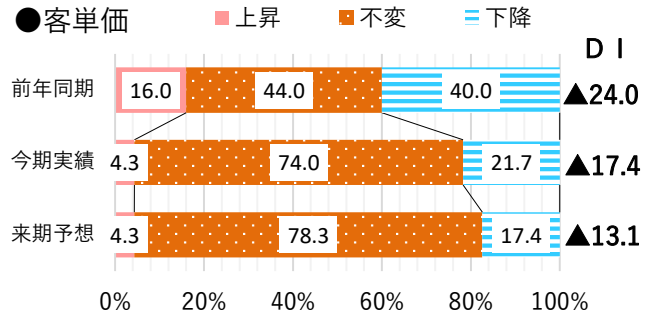
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、仕入単価

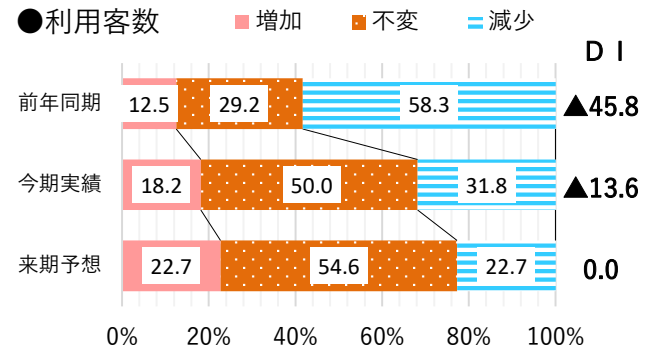
今期の客単価DIは▲17.4で、前年同期と比べ6.6ポイント上昇しました。

来期は、客単価の下降傾向が弱まると予想しています。



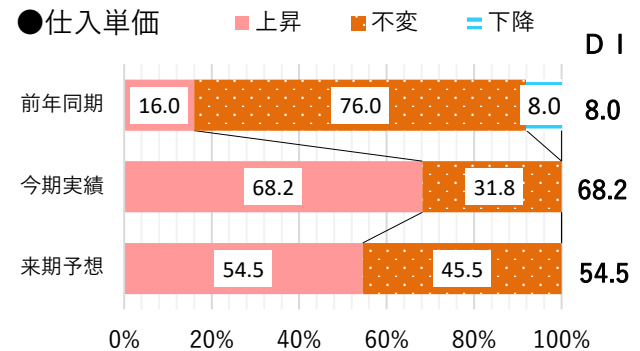
今期の利用客数DIは▲13.6で、前年同期と比べ32.2ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、利用客数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは68.2で、前年同期と比べ60.2ポイントと大幅に上昇しました。

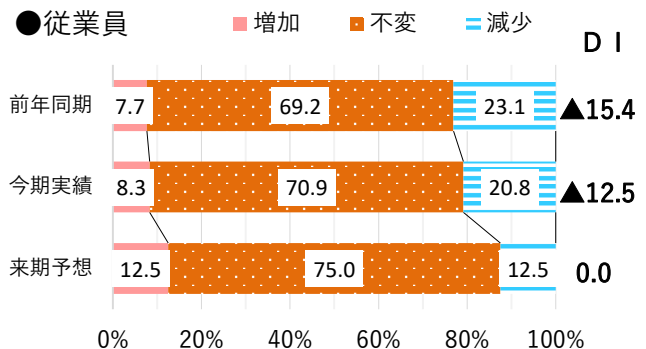
来期は、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



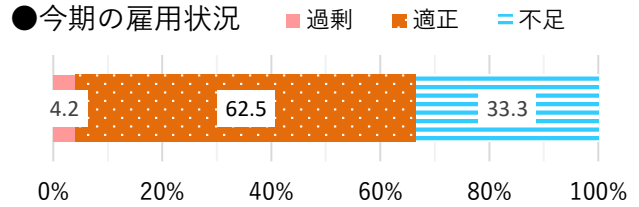
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは▲12.5で、前年同期と比べ2.9ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は4.2%、適正であると回答した企業の割合は62.5%、不足していると回答した企業の割合は33.3%でした。



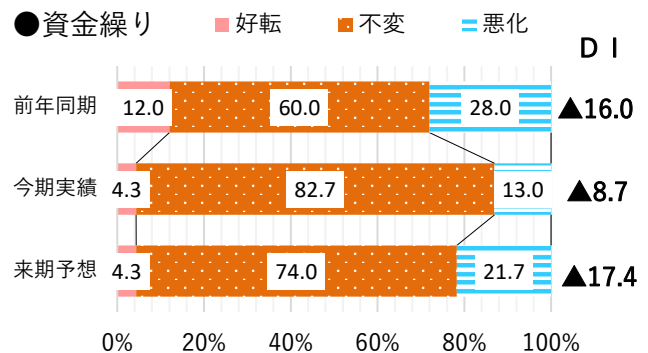
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、サービス業全体の54.1%を占めています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	1
不変だった	過剰	1
	適正	13
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	4

次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答でした。

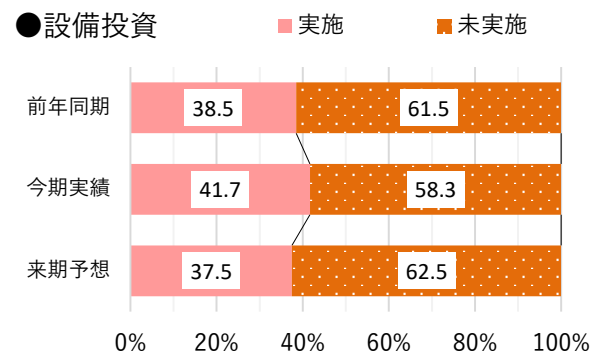
資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲8.7で、前年同期と比べ7.3ポイント上昇しました。



来期は、資金繰りの悪化傾向が強まると予想しています。

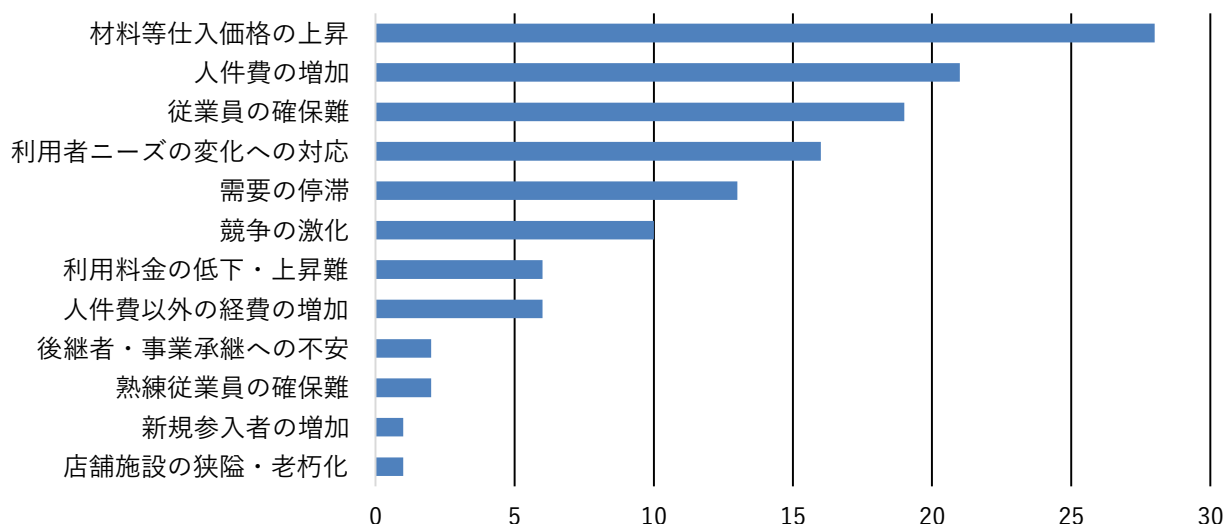
設備投資を実施した企業の割合は41.7%で、前年同期と比べ3.2%増加しました。投資内容は、1位が「サービス設備」、「車両運搬具」、「付帯施設」(同位)、2位が「OA機器」の順です。



来期に設備投資を計画している企業の割合は37.5%で、減少を予想しています。

経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「材料等仕入価格の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「従業員の確保難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- まん延防止等重点措置の適用を受け、テイクアウトのみの営業が続いていたが、利益が上がりづらく、苦しい状況にあった。仕入全般が値上がりしたため、利益率が悪化した。(飲食店)
- コロナ禍で広告主が減少した。紙の価格高騰で印刷費が増加した。人材確保に苦労している。(出版業)
- 昨年同期比で悪化した。人々の外出の機会自体が減っているため、客数が伸び悩んだ。仕入単価は少しずつ上昇している。従業員数と賃金に変わりはない。(美容業)
- 契約内容の見直しで、解約や保険料の減額が増えた。従業員を採用したいが、今は難しい。(保険業)
- 繁忙期につき、集客は例年と変わらぬ水準で安定している。(不動産代理・仲介業)
- 医療関連事業を行っていることもあり、コロナ禍ではあるが業績は伸びている。中国の新疆ウイグル自治区人権問題によって、資材の仕入価格が値上がりした。人材は充足している部署と不足している部署があるが、営業人材が特に不足している。(各種物品賃貸業)

[来期の業況について]

- まん延防止等重点措置が解除され、客足が回復し、ゴールデンウィークからの好転に期待する。(飲食店)
- 食品の仕入先から、5～10%の値上げを予定しているとの通知が届いている。(飲食店)
- 事業の引合いが続いており、ノウハウを新分野で活用できる事例が増えているため、業況の好転に期待している。(旅行代理店)
- 予約を確保できており、今期よりも客数が伸びると思われる。仕入価格は変わらず、従業員数、賃金の据え置きを予定している。売上が増加するなら、従業員の採用や賃金の引き上げを実施したい。(美容業)
- 固定費の縮小と、広告主の増加、人材確保に取り組む。(出版業)
- 原油価格、材料価格の更なる高騰が予想される。(ビルメンテナンス)
- 閑散期に入るため、客数の減少を予測している。(不動産・仲介業)
- ロシア、ウクライナの戦争により、燃料費の更なる高騰が懸念される。請負業務など労働集約型の事業も行っているため、積極的に人材を確保したい。(各種物品賃貸業)